



古代のロマンに酔いしれて

5月4日、第27回さきたま火祭りが行われ、約9万人がさきたま古墳公園を訪れました。

この祭りは、前玉神社の御祭神であるコノハナサクヤ姫が、炎の中で出産した神話を題材にしたもの。時折雨がぱらつく中、荘厳な音楽に合わせ、輦れん台に乗ったニギの命とコノハナサクヤ姫が登場しました。2人が産屋に火を放つと、炎は天高く燃え上がり、誰もがその光景に息をのんでいました。

その後、稲荷山古墳と丸墓山古墳から、古代人の衣装に身を包んだ約300人がたいまつを持って下り、メイン会場に集まりました。「エイ、エイ、オー」の掛け声とともに打ち上げられた花火が祭りのフィナーレを飾り、訪れた人すべてが古代のロマンに酔いしれていました。



今年も毎月開催！行田軽トラ朝市

昨年度から毎月第3日曜日に開催している行田軽トラ朝市。4月15日、今年度最初の朝市が市民プール脇広場で行われました。

安全・安心で新鮮な行田産の農産物を手ごろな値段で買うことができることあって、会場はたくさんの人でにぎわいました。

また、生産者自ら対面販売するのが特徴の朝市。来場者は、農産物の栽培・調理方法など、生産者といろいろな話をしながら、買い物を楽しんでいました。



元気に育って、また会おうね

5月13日、古代蓮の里でホタルの幼虫の放流が行われました。

平成17年から始まり、8回目を迎えたこの催しは、古代蓮の里にホタルが定着し、繁殖することを目指して行われたもので、約5,000匹の幼虫が放流されました。自分たちの手で放流した幼虫の様子を眺めたり、「古代蓮の里ホタルの会」の皆さんからホタルの成長過程についての説明を受けたりと、参加した親子は、夏に幻想的な光を放つホタルに出会えることを楽しみにしている様子でした。



いい湯だな、草津

4月17日、草津町・草津温泉観光協会・草津温泉旅館協同組合・草津町商工会との「行田市湯ったりあったか元気倍増事業」の協定調印式が行われました。

この協定の締結により、伊香保温泉に続いて草津温泉の48宿泊施設が本事業に追加されました。宿泊施設、土産店での割引引きや特典など、行田市民限定のお得なサービスを受けることができます。

今後、草津町との相互交流がますます盛んになっていくことでしょう。

少しでもエコな生活を送るために

4月21日、環境課で緑のカーテン用の苗が配布されました。

窓から入る日差しを遮ったり、葉から蒸発する水分が周囲の温度を下げたりするなど、夏季の冷房に掛かるエネルギー使用量を抑制する効果があるといわれている緑のカーテン。「少しでもエコな生活を」と意識を持った方が環境課を訪れ、配布開始前から長い列をつくっていました。



レンゲ畑で自然を体感

4月25日、長野地区の畑で総合学習の一環としてレンゲまつりが行われました。

参加した東小学校3年生60人の児童らは、一面に敷き詰められた桃色のじゅうたんで大はしゃぎ。レンゲで花飾りを作ったり、カエルを捕まえたり、追いかけてっこをしたりと自然の中で遊ぶ楽しさを全身で感じているようでした。

新たなグルメが大人気

4月20日、「商店街を元気にしたい」という思いから、(社)行田青年会議所主催の「城下町夜市」が埼玉りそな銀行駐車場で開催されました。

行田青年会議所メンバーが考案した新たなB級グルメ「フライ汁」や地産地消コンテンツに出品した「のぼうぎょうざ」などの試食会や城下町商店街市などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

試食会では、食べ物の名前も珍しいこともあり、開催直後から大人気。来場者は新たなグルメに舌鼓を打っていました。

